岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する基本計画

「第５次さんかくプラン」年次報告書

－施策の実施状況及び評価－
（令和７年度）

～性別等にかかわらず、住みよいまち、住みたいまちを目指して～

令和８年３月

岡山市市民協働局市民協働部
女性が輝くまちづくり推進課

目　　次

Ⅰ　はじめに　・・・ 1

Ⅱ　第５次さんかくプランの体系図　・・・ 2

Ⅲ　身近な指標が映す“さんかく都市”（令和４年度～令和８年度）　・・・ 6
～性別等にかかわらず、住みよいまち、住みたいまちの視点から～

Ⅳ　令和６年度に実施した主な施策　・・・３２

凡　　例

「さんかく条例」　＝岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例
（平成 13 年６月制定。
同年 10 月一部施行、平成 14 年４月全部施行）

「さんかくプラン」　＝岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する基本計画
（平成 14 年３月策定。計画期間は平成 14 年度からの５年間）

「新さんかくプラン」　＝岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する基本計画
（平成 19 年３月策定。計画期間は平成 19 年度からの５年間）

「第３次さんかくプラン」＝岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する基本計画
（平成 24 年３月策定。計画期間は平成 24 年度からの５年間）

「第４次さんかくプラン」＝岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する基本計画
（平成 29 年３月策定。計画期間は平成 29 年度からの５年間）

「第５次さんかくプラン」＝岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する基本計画
（令和４年３月策定。計画期間は令和４年度からの５年間）

「さんかく岡山」　＝岡山市男女共同参画社会推進センター
（平成 12 年４月オープン）

「さんかくウイーク」　＝岡山市男女共同参画推進週間
（「さんかく条例」により設置。６月 21 日～27 日までの一週間）

Ⅰ はじめに

岡山市は、男女共同参画社会の形成を促進するにあたり、固定的な性別役割分担意識の解消や仕事と家庭生活等の両立の推進、配偶者・パートナー等からの暴力の根絶などの課題があることをふまえ、「さんかく条例」に基づいて総合的かつ計画的に施策を推進するため、「第５次さんかくプラン」を策定しました。「第４次さんかくプラン」に引き続き、数値目標（行政が事業を行ううえで目標とする数値）及び成果指標（男女共同参画社会の進展の度合いを測る目安）を設定し、市民・事業者・自治組織等市の行う様々な取組が、市民生活の中にどのように浸透し、成果として現れるかを見ていきます。

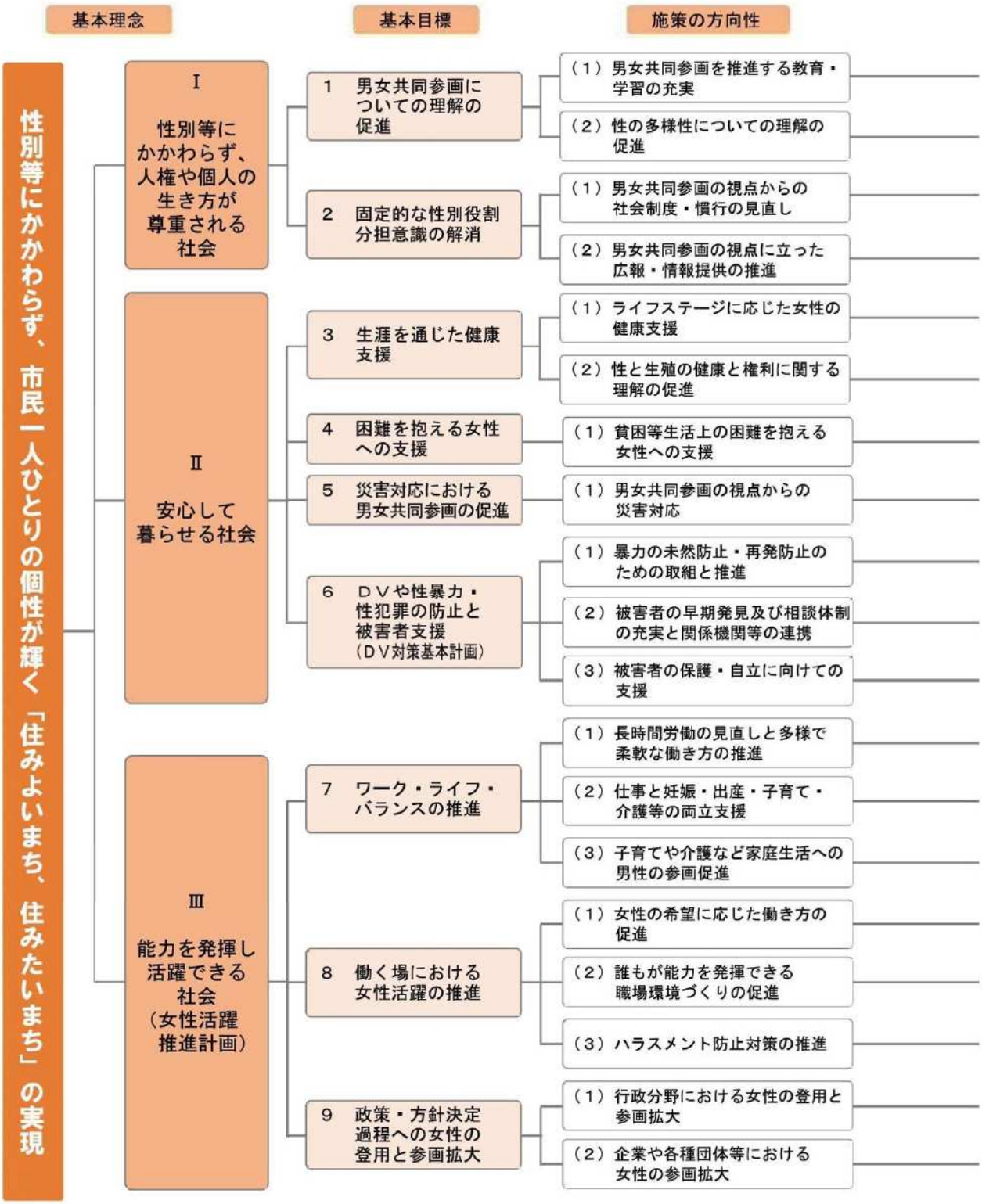
男女共同参画社会は、行政の取組だけでは実現しません。市民の皆さん一人ひとりに理解を深めていただき、地域団体やＮＰＯ、企業などの組織や多様な人々による主体的な活動と協働した取組を進めることが不可欠です。

そして、こうしたパートナーシップによる協働の取組を推進していくためには、施策の内容や方向性、目標など基本となる事項について、それぞれが共通の理解と認識を持つことが必要です。

この年次報告書では、数値目標の実績値調査をもとに施策の実施状況を把握し評価を行い、公開することで、男女共同参画社会の実現に向けた取組への市民参加を促進していきます。

なお、「第５次さんかくプラン」の数値目標及び成果指標につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた令和２年度を主な基準値としており、最新の実績値と乖離が大きい目標があります。

3　計画の体系図


基本理念
基本目標
施策の方向性
性別等にかかわらず、市民一人ひとりの個性が輝く「住みよいまち、住みたいまち」の実現
Ⅰ 性別等にかかわらず、人権や個人の生き方が尊重される社会
Ⅱ 安心して暮らせる社会
Ⅲ 能力を発揮し活躍できる社会（女性活躍推進計画）
1 男女共同参画についての理解の促進
2 固定的な性別役割分担意識の解消
3 生涯を通じた健康支援
4 困難を抱える女性への支援
5 災害対応における男女共同参画の促進
6 ＤＶや性暴力・性犯罪の防止と被害者支援（ＤＶ対策基本計画）
7 ワーク・ライフ・バランスの推進
8 働く場における女性活躍の推進
9 政策・方針決定過程への女性の登用と参画拡大
（1）男女共同参画を推進する教育・学習の充実
（2）性の多様性についての理解の促進
（1）男女共同参画の視点からの社会制度・慣行の見直し
（2）男女共同参画の視点に立った広報・情報提供の推進
（1）ライフステージに応じた女性の健康支援
（2）性と生殖の健康と権利に関する理解の促進
（1）貧困等生活上の困難を抱える女性への支援
（1）男女共同参画の視点からの災害対応
（1）暴力の未然防止・再発防止のための取組と推進
（2）被害者の早期発見及び相談体制の充実と関係機関等の連携
（3）被害者の保護・自立に向けての支援
（1）長時間労働の見直しと多様で柔軟な働き方の推進
（2）仕事と妊娠・出産・子育て・介護等の両立支援
（3）子育てや介護など家庭生活への男性の参画促進
（1）女性の希望に応じた働き方の促進
（2）誰もが能力を発揮できる職場環境づくりの促進
（3）ハラスメント防止対策の推進
（1）行政分野における女性の登用と参画拡大
（2）企業や各種団体等における女性の参画拡大

具体的施策等

①幼児期からの男女共同参画の視点を入れた学習の推進　②市職員の男女共同参画についての理解の促進
③地域や家庭における男女共同参画に関する学習機会の提供　④男女共同参画を推進する人材の育成
⑤情報教育の推進　⑥世界の動きや国際的な取組等についての情報提供及び外国人市民の参加促進

①市民への性の多様性についての啓発　②市職員の性の多様性についての理解の促進
③岡山市パートナーシップ宣誓制度の実施

①地域・家庭・職場における固定的な性別役割分担意識の解消のための啓発
②子どもの頃からの様々な分野への興味の拡大

①男女共同参画の視点に立った市の広報活動
②多様な媒体を通じた広報・啓発の推進

①妊娠・出産等に関する相談・支援体制の充実　②健康づくりのための知識の普及啓発
③健康診査（健診）、乳がん、子宮頸がん検診受診の推進　④こころの健康づくりの推進

①性に関する学習機会の充実・啓発　②学校における性に関する指導の充実

①女性や子どもの貧困対策の推進　②非正規雇用労働者等への支援
③ひとり親家庭（母子家庭）への支援　④様々な困難や不安を抱える人への支援

①地域防災における女性の参画拡大　②女性の視点を取り入れた防災の啓発
③避難所における性別に伴う困りごとへの相談支援

①市民へのＤＶ、性暴力・性犯罪防止の啓発　②小中高生等への啓発
③地域における防犯活動の推進

①被害者を早期に発見するための環境づくり　②男女共同参画相談支援センターを中心とした相談体制の充実
③関係機関や団体との連携・協力体制の強化

①被害者の保護のための支援　②被害者の自立に向けた支援
③ＤＶが起きている家庭等の子どもへの支援　④住民基本台帳の閲覧制限の支援措置

①企業等の経営者や管理職の意識改革に向けた啓発　②企業等における働き方改革の促進
③市職員の働き方改革

①保育等サービスの充実　②放課後児童対策の充実
③子育てに関する相談支援体制の充実　④介護に関する相談支援体制の充実

①男性の家事や子育て、介護への参画の支援・促進

①キャリア形成への支援　②再就職への支援
③創業への支援

①企業等における女性活躍促進に向けた啓発　②企業等の優れた取組の顕彰及び情報発信
③企業や関係機関、団体等の連携の強化　④女性活躍推進法等関係法令や制度の周知

①企業等のハラスメントの防止に向けた取組の促進　②市民へのハラスメントの防止啓発

①審議会等における積極的改善措置　②女性の市職員の管理職への登用

①企業等における女性の管理職等への登用の促進　②農林水産業における女性の参画促進
③自治組織、ＰＴＡ等地域活動における女性の参画促進

数値目標一覧

「第５次さんかくプラン」では、数値目標と成果指標を設定しています。

令和３年度に数値目標及び成果指標の現状値を調査し、数値目標については公開を前提とした評価を令和４年度から毎年行います。

数値目標　・・・行政が事業を行ううえで目標とする数値のこと。

数値目標一覧

基本目標	数値目標		目標値	
			現状値	目標値
1 男女共同参画についての理解の促進	①	小中学校において男女平等の内容を含んだ授業を実施したクラスの割合	100% （R２）	毎年 100%
	②	保育所・幼稚園・認定こども園において男女平等の視点から保育・教育や保護者への啓発に取り組んだ園の割合	100% （R２）	毎年 100%
	③	「さんかくカレッジ」の受講者数	383人 （R２）	毎年 400人
	④	市民への性の多様性についての啓発事業の参加者数	222人 （R２）	毎年 250人
	⑤	市職員への性の多様性の理解のための研修の受講者数	265人 （R２）	毎年 320人
2 固定的な性別役割分担意識の解消	⑥	「男は仕事、女は家庭」という考え方に否定的な人の割合	67.3% （R1）	79.0% （R7）
	⑦	「さんかくウイーク」への参加者数	929人 （R２）	毎年 2,000人
3 生涯を通じた健康支援	⑧	市の実施するエイズ・性感染症・性教育に関する出前講座開催数	78回 （R２）	毎年 80回
4 困難を抱える女性への支援	⑨	女性のための生活や就労を考える講座の参加者数	-	毎年 50人
5 災害対応における男女共同参画の促進	⑩	女性の視点を取り入れた防災ハンドブックの配布数	-	50,000冊 （R８.４.１）
6 ＤＶや性暴力・性犯罪の防止と被害者支援	⑪	市の実施するＤＶ・デートＤＶ・性暴力・性犯罪防止啓発事業の参加者数	224人 （R２）	毎年 500人
7 ワーク・ライフ・バランスの推進	⑫	保育所等の待機児童数	31人 （R３.４.１）	０人 （R８.４.１）
	⑬	放課後児童クラブの入所希望に対する入所児童の割合	78.8% （R３.４.１）	100% （R８.４.１）
	⑭	市職員のうち男性職員の育児休業取得率	一般職員： 27.1%（R２） 学校教職員： 6.6%（R２）	50.0% （R7）
	⑮	仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる企業の割合	52.1% （R３）	70.6% （R7）

基本目標	数値目標		目標値	
			現状値	目標値
8 働く場における女性活躍の推進	⑯	岡山市女性が輝く男女共同参画推進事業所の認証件数	31件 （R3.4.1）	70件 （R8.4.1）
	⑰	市の実施する再就職支援講座受講者のうち就職に向けて活動した人の割合	66.7% （R2）	毎年 80.0%
	⑱	市の実施する企業における女性活躍推進、ワーク・ライフ・バランスの啓発講座などの受講者数	330人 （R2）	毎年 500人
9 政策・方針決定過程への女性の登用と参画拡大	⑲	市内企業における管理職（課長相当職以上）に占める女性の割合	10.9% （R3）	15.0% （R7）
	⑳	市職員のうち課長級（校長級）以上に占める女性職員の割合	一般職員： 13.8%※ （R2.4.1） 学校教職員： 18.0%※ （R2.4.1校長級）	20.0%※ （R8.4.1）

※〔岡山市特定事業主行動計画（R3.4.1）より〕

Ⅲ　身近な指標が映す“さんかく都市”

（令和４年度～令和８年度）

～性別等にかかわらず、住みよいまち、住みたいまちの視点から～

＜報告書をみる際の注意点＞

（１）比率はすべて百分率で表し、小数点以下第２位を四捨五入して算出した。そのため、百分率の合計が１００％にならないことがある。

（２）分析においては、無回答を除いている。

（３）各目標の基準値は、プラン策定時の現状値を表している。

基本目標１　男女共同参画についての理解の促進

■数値目標の状況

【目標①】　小中学校において男女平等の内容を含んだ授業を実施したクラスの割合

基準値	R3 実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	目標値
100% （R2）	100% （小学校）	100% （小学校）	100% （小学校）	100% （小学校）	毎年 100%
	100% （中学校）	100% （中学校）	100% （中学校）	100% （中学校）	

●R６実績値の説明

・令和６年度に全ての市立小・中・義務教育学校の全クラス（小学校 86 校の 1,146 クラス、中学校 38 校の 489 クラス）で、男女平等の内容を含んだ授業を実施したかについて照会調査を行い算出した割合です。「生命の尊重」「性の多様性」「固定的な性別役割分担意識の解消」等、児童生徒の発達段階に応じて学習を行っています。

（Ⅳ　令和６年度に実施した主な施策 33 頁参照）

【目標②】　保育所・幼稚園・認定こども園において男女平等の視点から保育・教育や保護者への啓発に取り組んだ園の割合

基準値	R3 実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	目標値
100% （R2）	100%	100%	100%	100%	毎年 100%

●R6 実績値の説明

・令和 6 年度に男女平等の視点から保育・教育及び保護者への啓発等に取り組んだかについて全ての市立保育園、市立幼稚園、市立認定こども園（保育園 29 園、幼稚園 31 園、認定こども園 22 園）へ照会調査を行い算出した割合です。リーフレットを使用し、園内研修や職員会議等で取り上げる、保護者への対応にいかすなど各園で継続して取り組んでいます。（調査は令和６年４月１日現在の園を対象に実施）

（Ⅳ　令和６年度に実施した主な施策 33 頁参照）

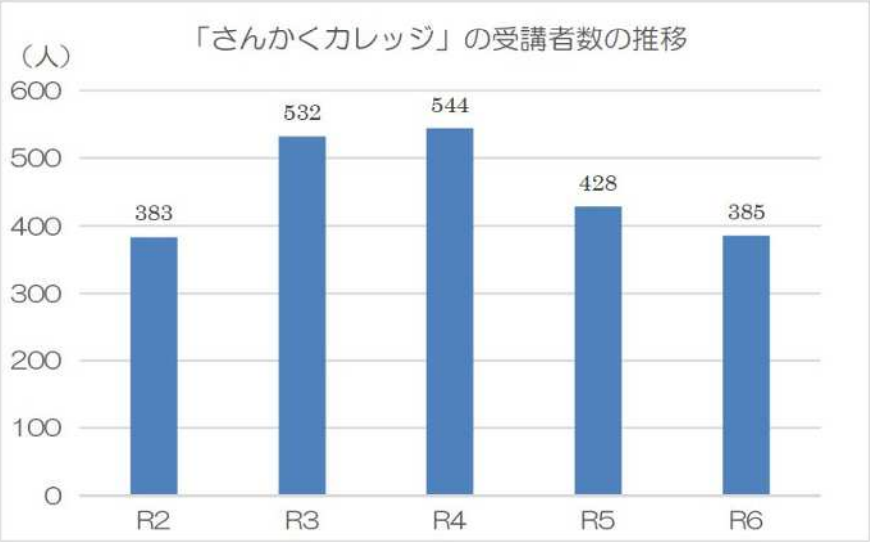
【目標③】　「さんかくカレッジ」の受講者数

基準値	R3 実績値	R4実績値	R5実績値	R6 実績値	目標値
383 人 （R2）	532 人	544 人	428 人	385 人	毎年 400 人

●R6 実績値の説明

・令和 6 年度に市が実施したさんかくカレッジ（岡山市男女共同参画大学）基礎コース・専門コースを受講した人数です。

≪参考≫目標値は定員の約 7 割で設定



（Ⅳ　令和 6 年度に実施した主な施策 36 頁参照）

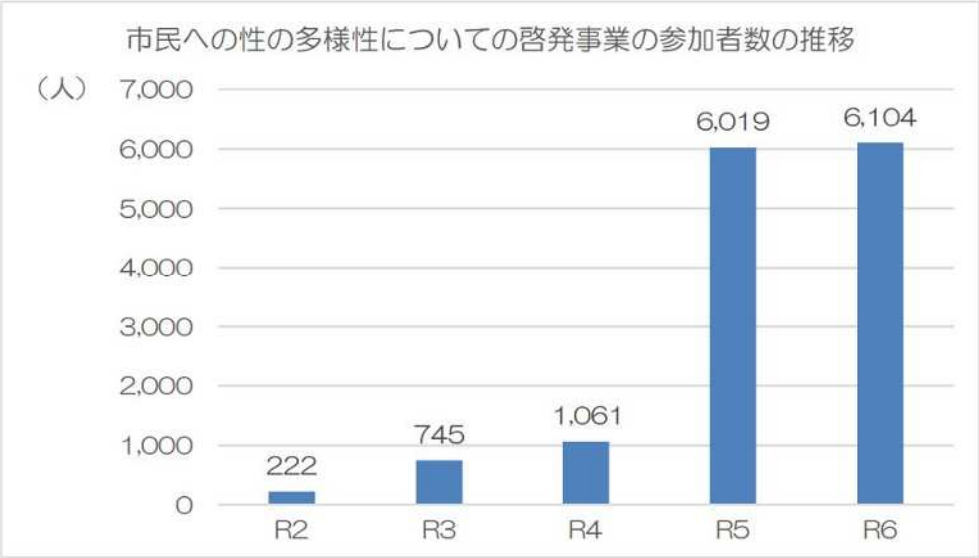
【目標④】　市民への性の多様性についての啓発事業の参加者数

基準値	R3 実績値	R4実績値	R5実績値	R6 実績値	目標値
222 人 （R2）	745 人	1,061 人	6,019 人	6,104 人	毎年 250 人

●R6 実績値の説明

・令和 6 年度に市が市民に向けて実施したアライの育成研修等、性の多様性についての啓発事業への参加者数です。

※アライ…性的マイノリティ当事者ではないが、活動を支持、支援している人たちのこと。



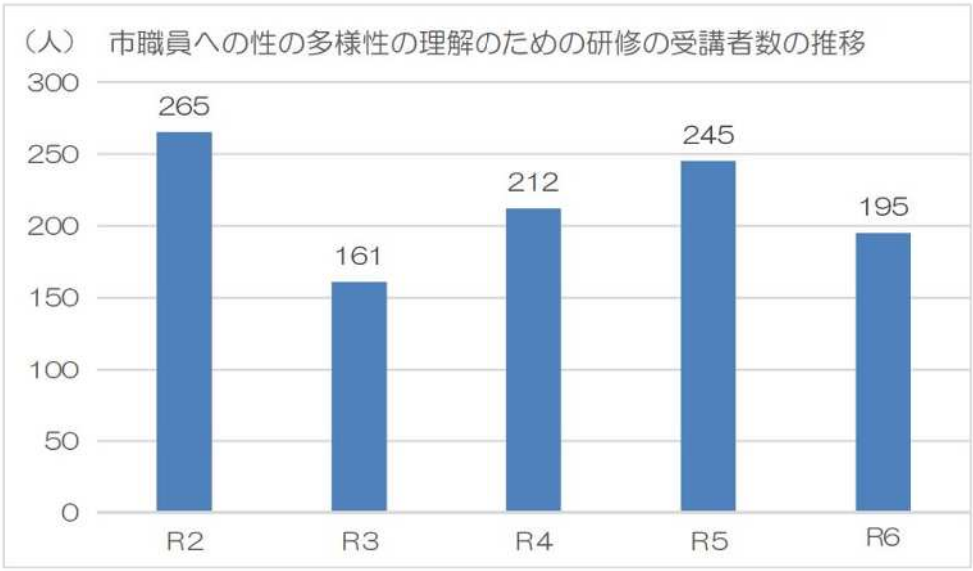
（Ⅳ　令和６年度に実施した主な施策 39頁参照）

【目標⑤】　市職員への性の多様性の理解のための研修の受講者数

基準値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	目標値
265 人 （R2）	161 人	212 人	245 人	195 人	毎年 320 人

●R6 実績値の説明

・令和 6 年度に市職員に向けて実施した性の多様性についての研修、アライの育成研修の受講者総数です。



（Ⅳ　令和６年度に実施した主な施策４０頁参照）

■男女共同参画専門委員会（審議会）・女性が輝くまちづくり推進本部による評価

目標①

「小中学校において男女平等の内容を含んだ授業を実施したクラスの割合」は、小学校、中学校、義務教育学校いずれも、目標値を達成しており評価できる。今後も、男女共同参画につながる学習の機会を確保しながら、授業内容の充実を図ることが必要である。

目標②

「保育所・幼稚園・認定こども園において、男女平等の視点から保育・教育や保護者への啓発等に取り組んだ園の割合」は、目標値を達成しており評価できる。幼児期から男女平等の視点を持つことができるよう、継続して取り組むことが大切である。

目標③

「さんかくカレッジの受講者数」は前年度より参加者が４３人減少し、目標値を下回った。今まで一度も参加したことがない人にも関心を持ってもらえるような講座を企画していくことが重要である。

目標④

「市民への性の多様性についての啓発事業の参加者数」は、目標値を達成しているが、そのうち人権フェスティバル岡山への参加者が多いが、引き続き市民が参加しやすいような講座・研修を積極的に企画することが必要である。

目標⑤

「市職員への性の多様性の理解のための研修の受講者数」は、台風のため一部研修が中止となり、前年度および目標値を下回っている。多様な性のあり方について正しい知識や理解を深めるため、今後もより多くの市職員が積極的に参加できるよう、開催回数や研修方法等の検討も行いながら研修を開催する必要がある。

基本目標２　固定的な性別役割分担意識の解消

■数値目標の状況

【目標⑥】　「男は仕事、女は家庭」という考え方に否定的な人の割合

基準値	R3 実績値	R5 実績値	目標値
67.3% （R1）	72.4%	72.8%	79% （R7）

●R５実績値の説明

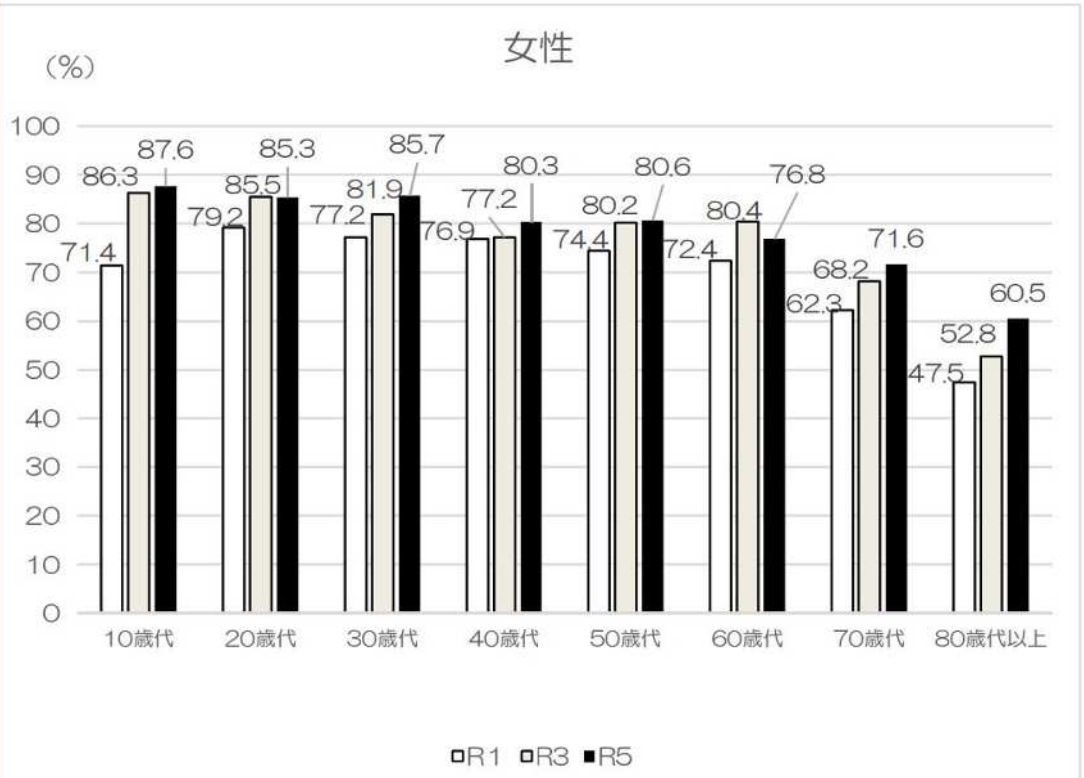
・令和５年度に実施した岡山市市民意識調査で、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答した人の割合です。同調査は次回令和７年度実施予定です。

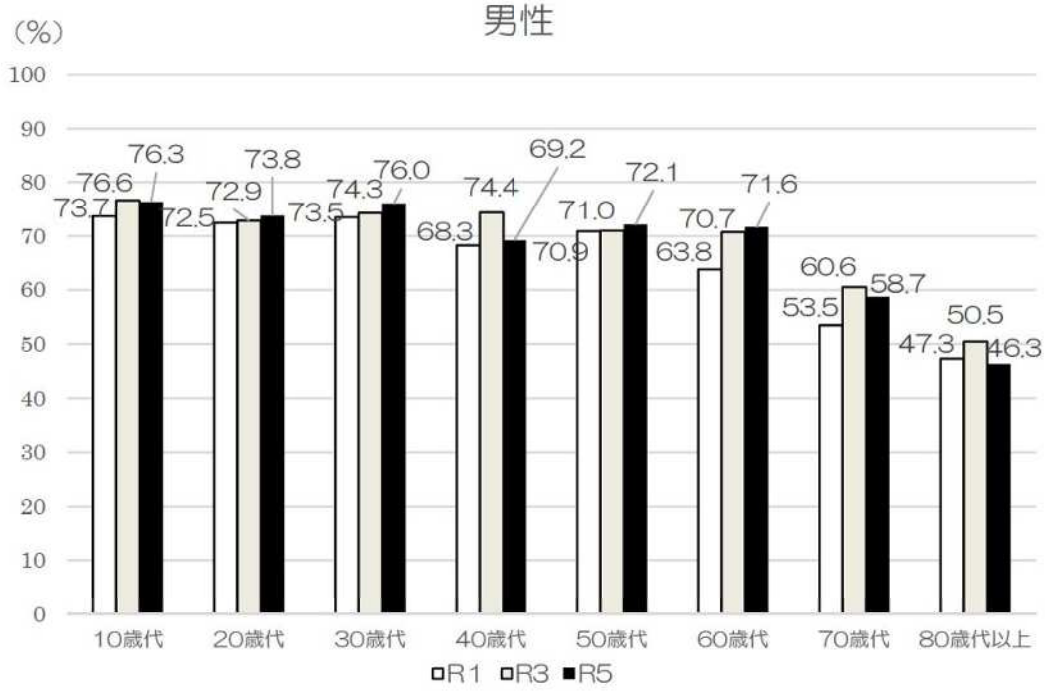
≪参考≫

・性別でみると「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答した人の割合は男性が 67.1%、女性が 76.9%となっており、女性の方が 9.8 ポイント高くなっています。

・年代別性別でみると、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答した人の割合は 10 歳代の女性で最も高く 87.6%（男性は 76.3%）、80 歳代以上の男性で最も低く 46.3%（女性は 60.5%）でした。

「男は仕事、女は家庭」という考え方に否定的な人の割合
＜令和元年度と令和３年度、令和５年度の比較＞



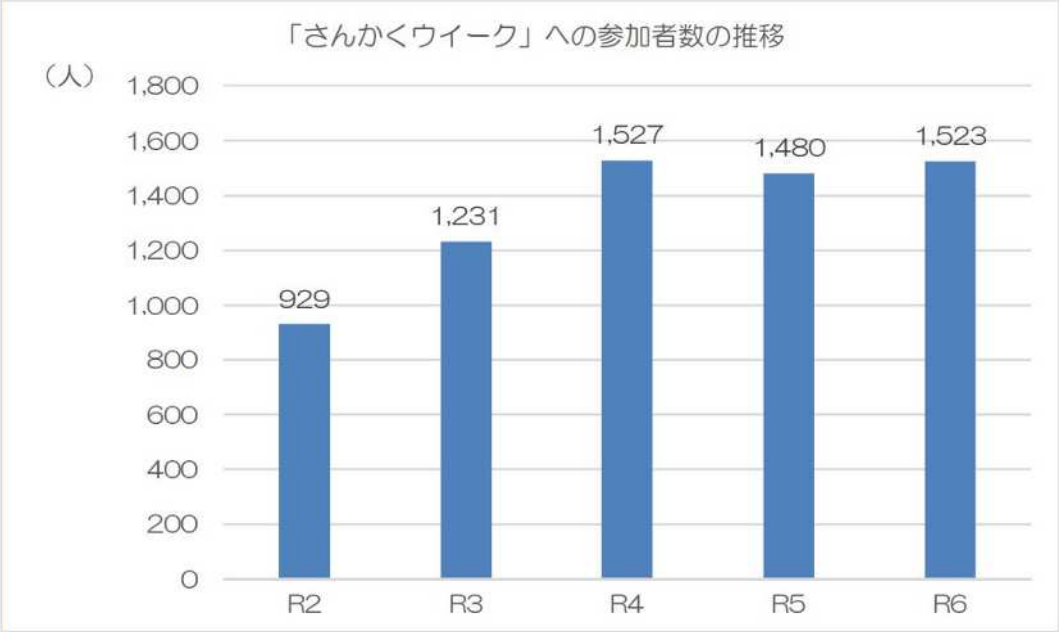


【目標⑦】　「さんかくウイーク」への参加者数

基準値	R3 実績値	R4実績値	R5実績値	R6 実績値	目標値
929 人 （R2）	1,231 人	1,527 人	1,480 人	1,523 人	毎年 2,000 人以上

●R6 実績値の説明

・さんかくウイーク 2024（令和６年度岡山市男女共同参画推進週間）中の行事への参加者総数です。



（Ⅳ　令和６年度に実施した主な施策４２頁参照）

■男女共同参画専門委員会（審議会）・女性が輝くまちづくり推進本部による評価

目標⑥

「「男は仕事、女は家庭」という考え方に否定的な人の割合」は、前回調査時（R3）より 0.4 ポイント増加とほぼ横ばいとなっている。家庭生活における家事や育児等の役割分担については、女性が担うものという考えは根強く残っており、年代別でみると年代が上がるにつれ否定的な人の割合は低くなり、性別でみると女性より男性の割合が低い。全体的にみると否定的な人の割合は徐々に増加しており、固定的な性別役割分担意識解消に向け、引き続き啓発を行うことが必要である。

目標⑦

「「さんかくウイーク」への参加者数」は、前年度より参加者数が 43 人増加したものの、目標値は下回った。今後も実行委員と協力しながら啓発事業を企画し、公民館行事や市民協働事業等参加しやすい内容となるように工夫するとともに、若い世代をはじめ多くの市民に情報が届くようにＳＮＳ等の電子媒体を活用した広報活動も積極的に行うことが必要である。

基本目標３　生涯を通じた健康支援

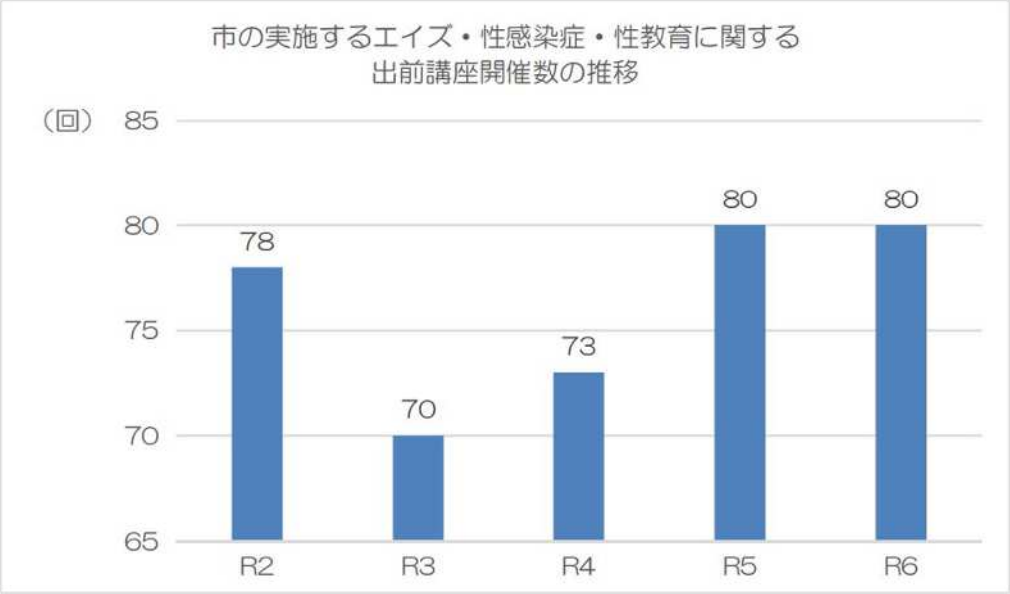
■数値目標の状況

【目標⑧】　市の実施するエイズ・性感染症・性教育に関する出前講座開催数

基準値	R3 実績値	R4実績値	R5実績値	R6 実績値	目標値
78 回 （R2）	70 回	73 回	80 回	80 回	毎年 80 回

●R6 実績値の説明

・令和 6 年度に市が実施したエイズ・性感染症・性教育に関する学校出前講座の開催数です。



（Ⅳ　令和６年度に実施した主な施策４９頁参照）

■男女共同参画専門委員会（審議会）・女性が輝くまちづくり推進本部による評価

目標⑧

「市の実施するエイズ・性感染症・性教育に関する出前講座開催数」は前年度から横這いであり、目標値に達している。引き続きエイズ・性感染症・性教育について学校や地域と連携し、正しい知識の普及啓発を行い、性について見つめなおす機会を充実させることが重要である。

基本目標４　困難を抱える女性への支援

■数値目標の状況

【目標⑨】　女性のための生活や就労を考える講座の参加者数

基準値	R3 実績値	R4実績値	R5実績値	R6 実績値	目標値
―	―	０人	28 人	89 人	毎年 50 人

●R6 実績値の説明

・令和６年度に実施した女性のための生活と就労を考える講座の参加者総数です。

（Ⅳ　令和６年度に実施した主な施策５２頁参照）

■男女共同参画専門委員会（審議会）・女性が輝くまちづくり推進本部による評価

目標⑨

「女性のための生活や就労を考える講座の参加者数」は、さんかく岡山での講座に加えて、さんかくウイーク 2024 公民館行事としても講座を開催したことにより、前年度より参加者数が 61 人増加し、目標値を上回った。さらに多くの人に関心を持ってもらえるような講座を企画し、子育て中の女性でも参加しやすいよう開催方法等を工夫する必要がある。

基本目標５　災害対応における男女共同参画の促進

■数値目標の状況

【目標⑩】　女性の視点を取り入れた防災ハンドブックの配布数

基準値	R3 実績値	R4実績値	R5実績値	R6 実績値	目標値
—	—	40,000 冊	60,000 冊	60,000 冊	50,000 冊 (R8.4.1)

●R6 実績値の説明

・令和４年度から実施の事業で、区役所・公民館等での配布のほか、地域での出前講座等で配布したハンドブックの冊数です。

（Ⅳ　令和６年度に実施した主な施策 56頁参照）

■男女共同参画専門委員会（審議会）・女性が輝くまちづくり推進本部による評価

目標⑩

「女性の視点を取り入れた防災ハンドブックの配布数」は地域での出前講座等で配布を行ったことから、目標値を達成した。防災分野での固定的性別役割分担を見直し、防災に関して女性の視点を持つことが重要である。

基本目標６　ＤＶや性暴力・性犯罪の防止と被害者支援（DV 対策基本計画）

■数値目標の状況

【目標⑪】　市の実施するＤＶ・デートＤＶ・性暴力・性犯罪防止啓発事業の参加者数

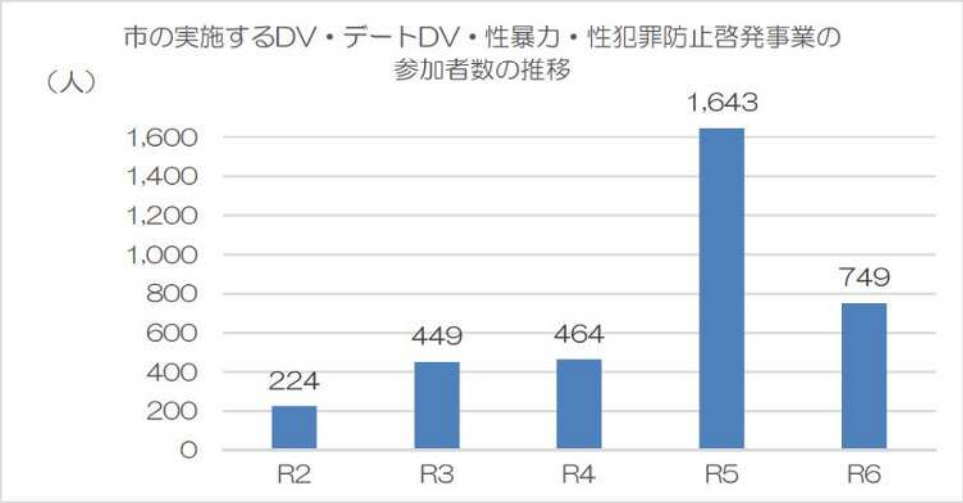
基準値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	目標値
224 人（R2）	449 人	464 人	1,643 人	749 人	毎年 500 人

●R6 実績値の説明

・令和６年度に市が実施したＤＶ・デートＤＶ防止啓発講座等の受講者総数です。

≪参考≫市民向け　　：176 人

中学校・高校・大学向け：573 人



（Ⅳ　令和６年度に実施した主な施策 57 頁参照）

■男女共同参画専門委員会（審議会）・女性が輝くまちづくり推進本部による評価

目標⑪

「市の実施するＤＶ・デートＤＶ・性暴力・性犯罪防止啓発事業の参加者数」は前年度より８９４人減少したものの、目標値は上回った。高校生や中学生等若い世代を対象としたデートＤＶの出前講座を積極的に開催するため、校内ネットワークでのライブ配信も可能であることを周知するとともに、パンフレット等を活用しながら、認識や理解を促進するよう情報発信を積極的に行い、啓発に努める必要がある。

基本目標７　ワーク・ライフ・バランスの推進

■数値目標の状況

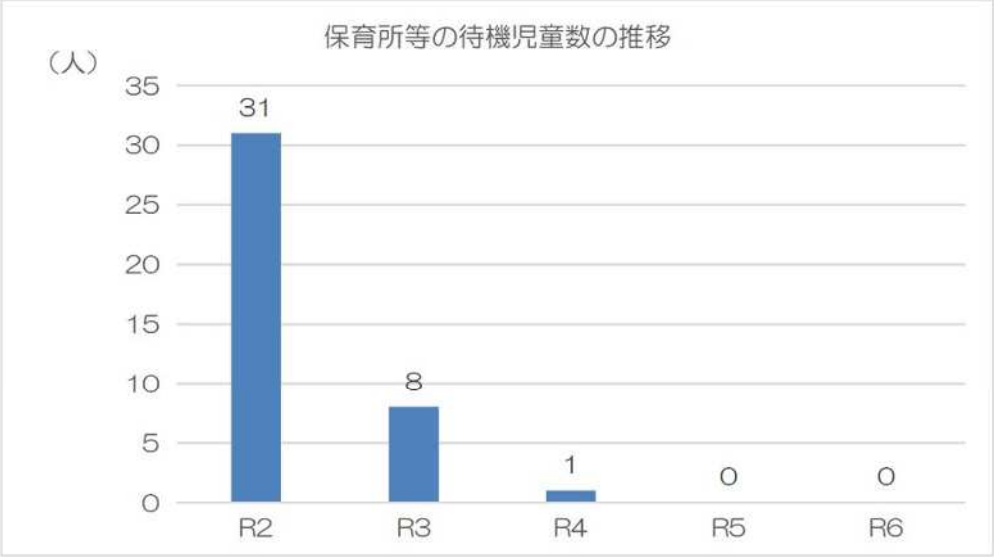
【目標⑫】　保育所等の待機児童数

基準値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	目標値
31 人 （R3.4.1）	８人	１人	０人	０人	０人 （R8.4.1）

●R6 実績値の説明

・令和７年４月１日現在における保育所等の待機児童数です。

≪参考≫平成 29 年には最多の 849 人でしたが、施設整備等による受け皿の確保や保育士確保が進んだことや、保育コンシェルジュによる寄り添う支援に力を入れた結果等により、引き続き目標値に達しています。



【目標⑬】　放課後児童クラブの入所希望に対する入所児童の割合

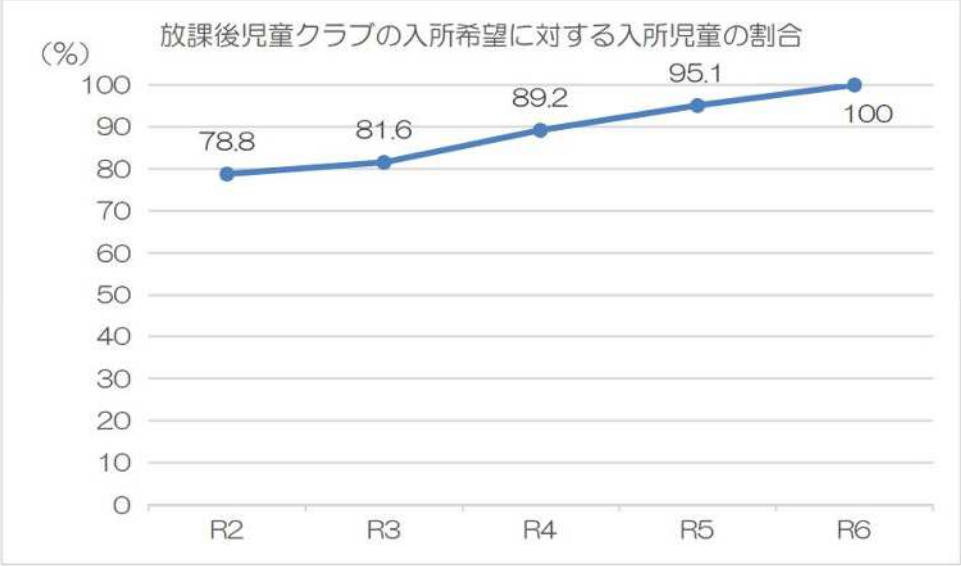
基準値	R3 実績値	R4実績値	R5実績値	R6 実績値	目標値
78.8% （R3.4.1）	81.6%	89.2%	95.1%	100% ※	100% （R8.4.1）

●R6 実績値の説明

・令和７年４月１日現在における放課後児童クラブの入所希望に対する入所児童の割合（利用児童数／令和７年度利用見込児童数）です。

※・本プランで用いる令和７年度利用見込児童数は、平成 30 年度実施の「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」結果により算出。

・令和７年３月の岡山市こども計画にあたって、令和６年度に利用見込児童数を更新したため、新たな利用見込みに対する R6 年実績値は 93.1%となります。



【目標⑭】　市職員のうち男性職員の育児休業取得率

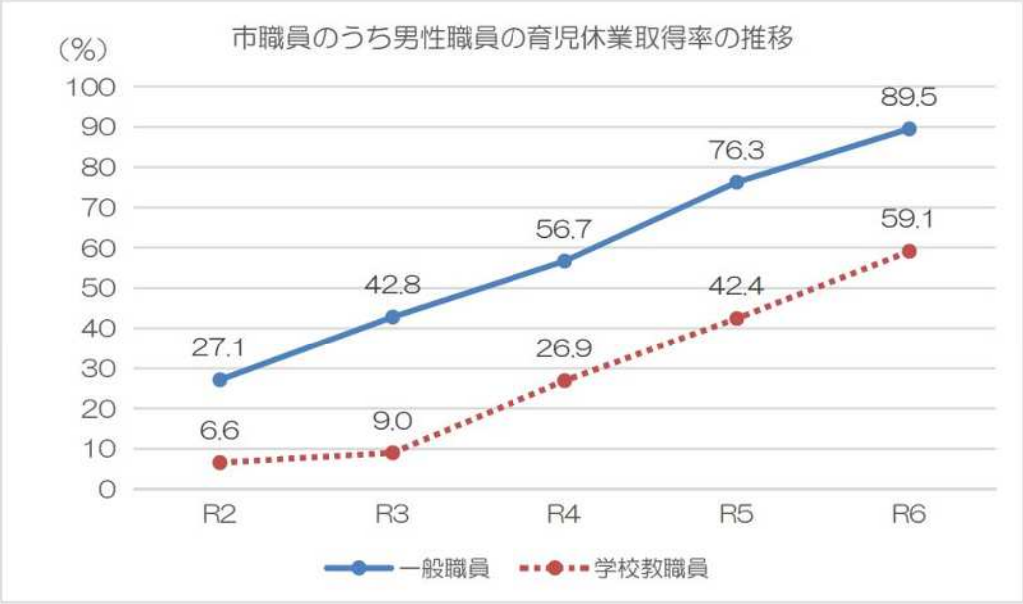
基準値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	目標値
27.1% （一般職員） 6.6% （学校教職員） （R2）	42.8% （一般職員） 9.0% （学校教職員）	56.7% （一般職員） 26.9% （学校教職員）	76.3% （一般職員） 42.4% （学校教職員）	89.5% （一般職員） 59.1% （学校教職員）	50.0% （R7）※

●R6 実績値の説明

・市職員のうち、令和６年度に育児休業を取得した男性職員の割合です。

≪※目標値について≫

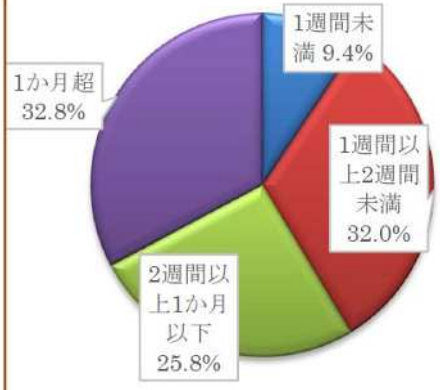
・令和６年１月より、岡山市特定事業主行動計画において、男性職員の育児休業取得率の目標を１日以上 50%から１週間以上 85%（令和７年度まで）に引き上げています。
学校教職員及び消防局は、職務、職種の特性を考慮して 50%を継続しています。



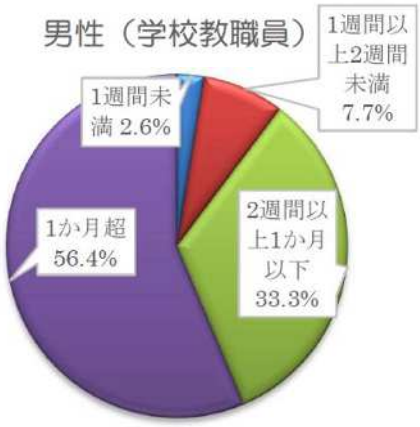
（Ⅳ　令和６年度に実施した主な施策７２頁参照）

≪参考≫取得期間状況（R6年度実績）

男性（一般職員）



男性（学校教職員）



前年度取得期間状況（R5 年度実績）

男性（一般職員）

1 週間未満 21.4%

1 週間以上 2 週間未満 32.0%

2 週間以上 1 か月以下 20.4%

1 か月超 26.2%

男性（学校教職員）

1 週間未満 21.4%

1 週間以上 2 週間未満　14.3%

2 週間以上 1 か月以下　57.1%

1 か月超　7.1%

【目標⑮】　仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる企業の割合

基準値	R3 実績値	目標値
52.1% （R3）	52.1%	70.6% （R7）

●R3 実績値の説明

・令和３年度における仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる企業の割合です。

≪参考≫基準値および実績値は令和３年度実施「女性活躍及びワーク・ライフ・バランスに関する調査」より。同調査は次回令和７年度実施予定です。

≪参考≫企業等に向けた取り組み（R6 実績）

・女性活躍推進シンポジウム開催
・女性活躍に向けたトータルサポート事業
・女性が輝く男女共同参画推進事業所の認証
・岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰

■男女共同参画専門委員会（審議会）・女性が輝くまちづくり推進本部による評価

目標⑫

「保育所等の待機児童数」は２年連続で０人となり目標値に達した。継続して地域の状況に応じながら定員を見直すとともに、多様なニーズに応じた保育等サービスの充実を図る必要がある。

目標⑬

「放課後児童クラブの入所希望に対する入所児童の割合」は、前年度より4.9ポイント上昇し、目標値に達した。なお、令和６年度に入所希望児童の見込みや待機児童解消の目標年度を更新したため、新たな利用見込に対する実績値は 93.1%となっている。引き続き待機児童解消に向け、今後も放課後児童クラブの施設整備や人員確保支援等にあわせて、民間事業者活用の取組を進める必要がある。

目標⑭

「市職員のうち男性職員の育児休業取得率」は、前年度から一般職員 13.2ポイント、教職員 16.7 ポイント増加している。男性が積極的に育児に参加し、育児や家事の負担を夫婦で分かち合うことは、誰もが仕事と家庭生活を両立できるワーク・ライフ・バランスの実現とともに欠かせない。引き続き、男性職員が育児休業を取得しやすい環境づくりに取り組み、男性の育児休業の取得を促進していく必要がある。

目標⑮

「仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる企業の割合」は目標値より18.5 ポイント低かった。多様な働き方ができる制度を導入している企業が増加しているものの、令和７年度の目標値達成に向け、ワーク・ライフ・バランスの重要性について企業や市民に向けて積極的な啓発活動等行うことが重要である。

基本目標８　働く場における女性の活躍推進

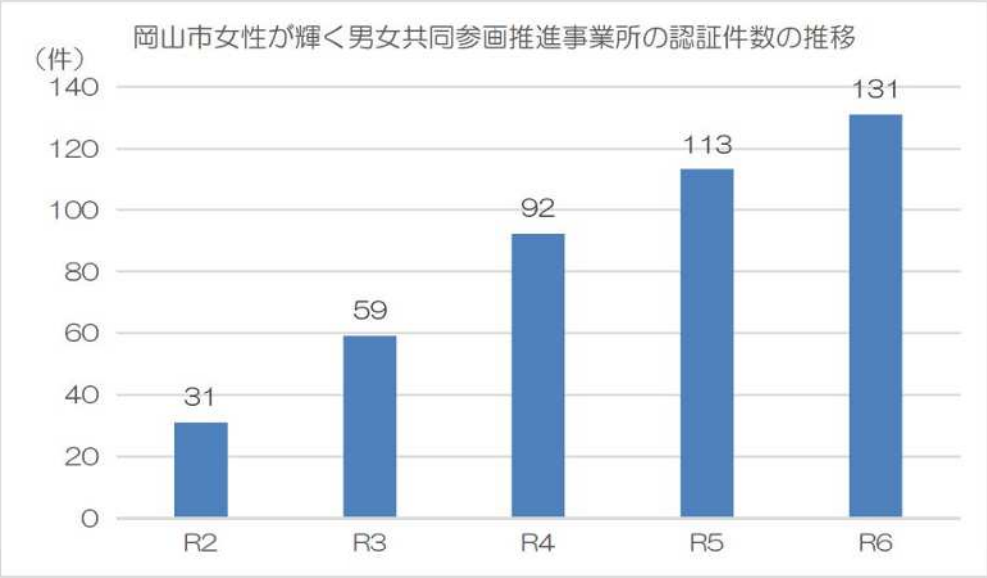
■数値目標の状況

【目標⑯】　岡山市女性が輝く男女共同参画推進事業所の認証件数

基準値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	目標値
31 件 （R3.4.1）	59 件	92 件	113 件	131 件	70 件 （R8.4.1）

●R6 実績値の説明

・女性活躍推進及び仕事と家庭の両立支援など、職場における男女共同参画を推進している企業を認証しており、令和７年４月１日現在の認証事業所数です。



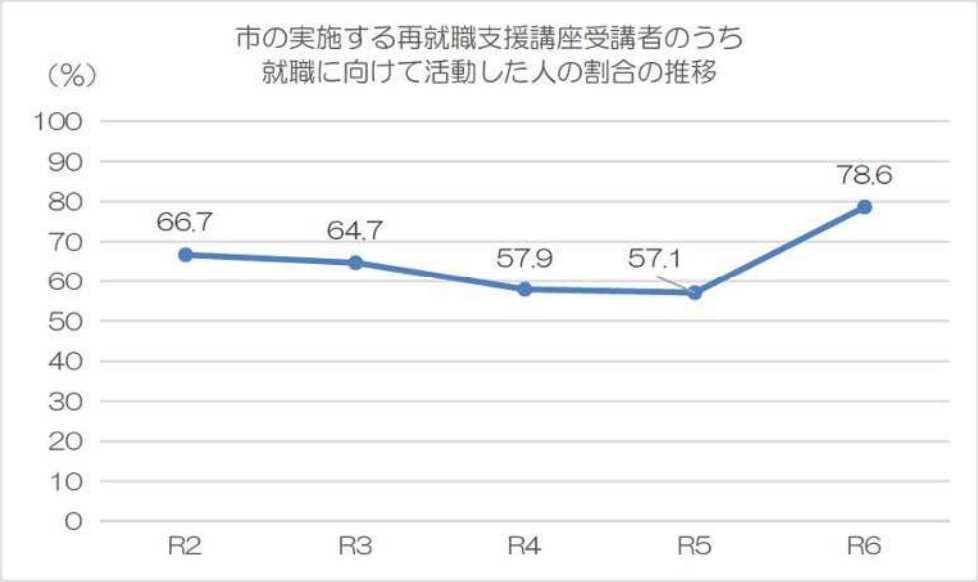
（Ⅳ　令和６年度に実施した主な施策７９頁参照）

【目標⑰】　市の実施する再就職支援講座受講者のうち就職に向けて活動した人の割合

基準値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	目標値
66.7% （R2）	64.7%	57.9%	57.1%	78.6%	毎年 80%

●R6 実績値の説明

・令和 6 年度に市が実施した再就職支援講座受講者のうち就職に向けて活動した人の割合です。



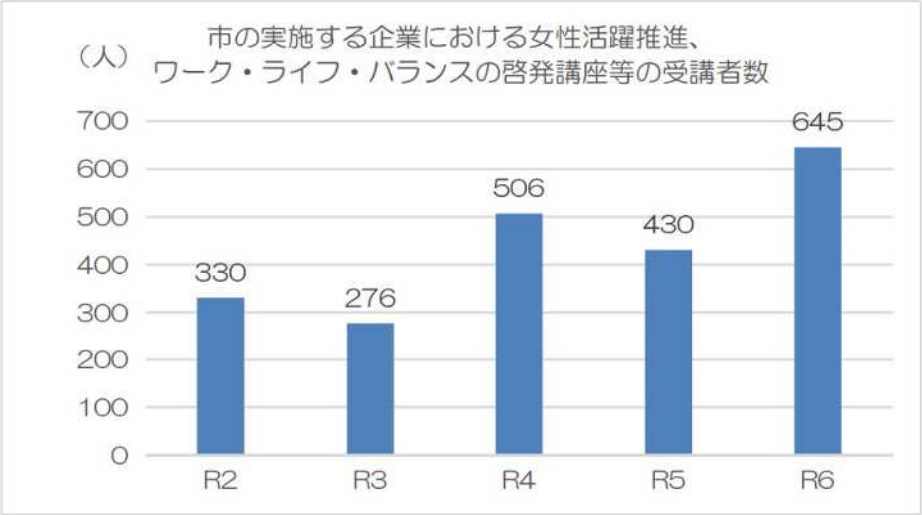
（Ⅳ　令和６年度に実施した主な施策７９頁参照）

【目標⑱】　市の実施する企業における女性活躍推進、ワーク・ライフ・バランスの啓発講座等の受講者数

基準値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	目標値
330 人 （R2）	276 人	506 人	430 人	645 人	毎年 500 人

●R6 実績値の説明

・令和 6 年度に市が実施した企業における女性活躍推進の啓発講座等の受講者総数です。



（Ⅳ　令和６年度に実施した主な施策７９・８０頁参照）

■男女共同参画専門委員会（審議会）・女性が輝くまちづくり推進本部による評価

目標⑯

「岡山市女性が輝く男女共同参画推進事業所の認証件数」は、目標値を達成しており、評価できる。引き続き女性活躍推進及び仕事と家庭の両立支援に積極的に推進する企業を認証するとともに、認証制度について積極的に周知していく必要がある。

目標⑰

「市の実施する再就職支援講座受講者のうち就職に向けて活動した人の割合」は前年度から 21.5 ポイント増加の 78.6%となったが、目標値は下回った。今後も労働局等関係機関との連携をより一層深め、就労を希望する女性が希望する形での雇用につながるよう取り組む必要がある。

目標⑱

「市の実施する企業における女性活躍推進、ワーク・ライフ・バランスの啓発講座等の受講者数」は前年度より 215 人増加し、目標値を上回った。引き続き、より企業の関心を引くテーマや内容について検討をし、啓発に取り組んでいく必要がある。

基本目標９　政策・方針決定過程への女性の登用と参画拡大

■数値目標の状況

【目標⑲】　市内企業における管理職（課長相当職以上）に占める女性の割合

基準値	R3 実績値	目標値
10.9% （R3）	10.9%	15.0% （R7）

●R3 実績値の説明

・令和３年度市内企業における女性管理職の割合です。

≪参考≫・2025 年７月実施の帝国データバンク「女性登用に対する企業の意識調査」によると、女性管理職（課長相当級以上）割合の全国平均は過去最高の 11.1%となりましたが、上昇幅はやや鈍化しています。
（2024 年 10.9%、2023 年 9.8%、2022 年 9.4%、
2021 年 8.9%、2020 年 7.8%）

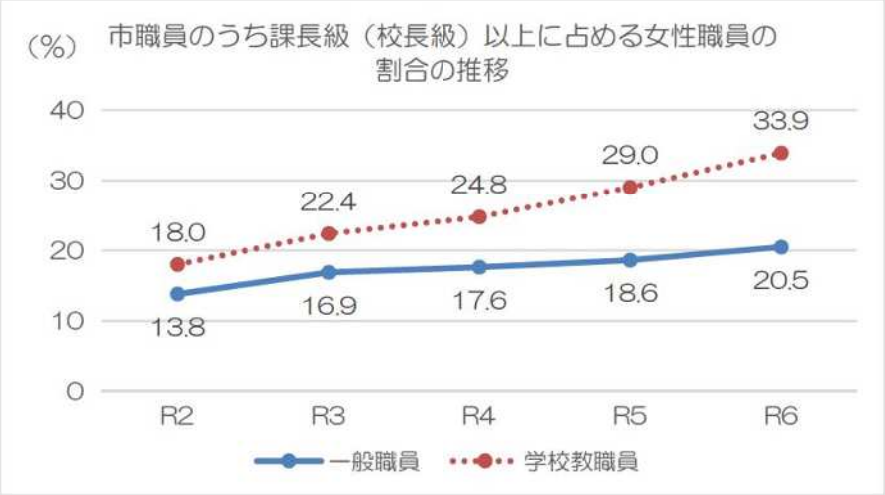
・基準値および実績値は令和３年度実施「女性活躍及びワーク・ライフ・バランスに関する調査」より。同調査は次回令和７年度実施予定です。

【目標⑳】　市職員のうち課長級（校長級）以上に占める女性職員の割合

基準値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 実績値	目標値
13.8% （一般職員） （R2.4.1）	16.9% （一般職員）	17.6% （一般職員）	18.6% （一般職員）	20.5% （一般職員）	20.0% （R8.4.1）
18.0% （学校教職員） （R2.4.1）	22.4% （学校教職員）	24.8% （学校教職員）	29.0% （学校教職員）	33.9% （学校教職員）	

●R6 実績値の説明

・令和７年４月１日現在において、課長級（校長級）以上に占める女性職員の割合です。



≪参考≫・令和７年４月１日現在の市職員総数
5,315 人（女性 2,127 人、男性 3,188 人）
・女性又は男性職員それぞれの職員総数において、管理職職員が占める割合　女性 3.8%、男性 9.8%

≪参考≫地方公務員課長相当職以上に占める女性の割合
都道府県　　15.2%（R6 年度 14.1%）
政令指定都市　19.1%（R6 年度 18.4%）
市区町村　　19.1%（R6 年度 18.4%）

内閣府「令和 7 年度地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」

※参考の数値は、いずれも小・中・義務教育学校・高等学校教職員を除く

（Ⅳ　令和６年度に実施した主な施策８４頁参照）

■男女共同参画専門委員会（審議会）・女性が輝くまちづくり推進本部による評価

目標⑲

令和３年度の「市内企業における管理職（課長相当職以上）に占める女性職員の割合」は目標値より 4.1 ポイント低かった。令和 7 年度の目標値達成に向けて関係機関と連携し、女性活躍推進の啓発など企業等に働きかける必要がある。

目標⑳

「市職員のうち課長級（校長級）以上に占める女性職員の割合」は前年度（R6.4.1）から一般職 1.9 ポイント、教職員 4.9 ポイント増加している。一般職および教職員ともに目標を達成しており、評価できる。今後も男女問わず職員一人ひとりの能力や実績に基づいた管理職登用を図るとともに、仕事と育児・介護の両立支援等を積極的に推進する中で、さらに女性管理職の割合を上げていくことが必要である。